

# 失われた街

## 3.11のための「記憶の模型」展

展示1/500 復元模型 釜石・大船渡・陸前高田・志津川・女川・石巻・鮎川浜・荒浜・相馬港・浪江

荒浜(宮城県仙台市) 写真 太田拓実

Commemoration by 1/500 Scale Models For 3.11

2012.11.29 [木] → 12.19 [水]

神奈川県建築安全協会 安協サービスセンター 2F

11:00→17:00 横浜市中区元浜町 4-36 入場無料 | 会期中無休

お問合せ | 045-212-3599 (神奈川県建築安全協会 総務部 担当 | 長田<sup>ながた</sup>/安西)

関連トークイベント | 会場：神奈川県建築安全協会本部8F会議室\*

- I | '12.11.30 [金] 『“失われた街”プロジェクトと復興の現場』  
『行政・行政職員に何ができるのか』
- II | '12.12.07 [金] 『神奈川の建築関係者に何ができるのか』
- III | '12.12.14 [金] 『県内ボランティア活動の状況』

\*横浜市中区元浜町3-21-2 \*詳細情報はwww.losthomes.jpにて随時更新いたします。

主催 | 財団法人神奈川県建築安全協会、「失われた街」模型復元プロジェクト実行委員会 企画 | 神戸大学大学院機構橋修研究室  
後援 | YCCスクール、神奈川大学、県立神奈川工業高等学校、神奈川県震災後対策推進協議会、神奈川県建築士会、神奈川県建築士事務所協会、JIA神奈川地域会、日本建築学会神奈川支所、神奈川県建設業協会、  
かながわ東日本大震災ボランティアステーション(神奈川県・神奈川県社会福祉協議会・神奈川県災害ボランティアネットワーク)、馬車道商店街協同組合、協同組合横浜南部市場共栄会  
協力 | アーキエイト、TOTOギャラリー一間、日本スペースイメージング株式会社、名古屋市立大学久野紀光研究室、横浜市立大学鈴木伸治セミナー、東京都防災・建築まちづくりセンター、東北建設協会、宮城県建築住宅センター

# 人々の記憶の再生

石巻 [宮城県石巻市]

2011年3月11日、東日本大震災とそれに伴う大津波によって失われた、それぞれの東日本の街や村には、その土地の自然と共に長い時間をかけて積み重ねられた人々の記憶が宿っていました。「失われた街」模型復元プロジェクトは、全国の建築学生達が協力して被災地域の以前の姿を縮尺1/500の模型で復元していく取り組みです。人々の記憶の再生、被災地の復興を願い、岩手県・宮城県・福島県における10の復元模型の展示を行います。



釜石 [岩手県釜石市]



志津川 [宮城県南三陸町]



相馬港 [福島県相馬市]

## 01 | 復元模型展示

### 1/500で再現される東日本の記憶

豊かな自然の中で育まれ、3.11によって失われてしまった風景の多様性を体感し、かけがえない日常がそこにあったことを伝えます。

[展示模型] 岩手県 | 釜石 [釜石市] / 大船渡 [大船渡市] / 陸前高田 [陸前高田市] 宮城県 | 志津川 [南三陸町] / 女川 [牡鹿郡女川町] / 石巻 [石巻市] / 鮎川浜 [石巻市] / 荒浜 [仙台市若林区] 福島県 | 相馬港 [相馬市] / 浪江 [双葉郡浪江町]

## 02 | 映像作品上映

### 復元模型によって紡ぎ出された人々の記憶

復元模型をのぞき込んだ現地の人々から、多くの言葉が語られてきました。2011年6月から宮城県気仙沼市の各所において地域の皆さんと模型に色を塗り、思い出を書き込んだフラッグをそれぞれの場所に立てる「記憶の街ワークショップ」を行いました。本展ではワークショップを通じて得た住民の方々の証言を元にした演劇作品「失われた街ギャラリーリーディング～鹿折(宮城県気仙沼市)」(演出:高尾隆、映像監督:蔵岡登志美)を上映し、併せて震災時における建築物の応急危険度判定活動に関する映像も上映します。

## 03 | 関連トークイベント

### I 『“失われた街”プロジェクトと復興の現場』 『行政・行政職員に何ができるのか』

11月30日 [金] 18時→20時半 (17時半開場) | 入場無料 [定員50名]

会場 | 神奈川県建築安全協会本部 8F会議室 [横浜市中区元浜町3-21-2ヘリオスビル内]

槻橋修 [神戸大学准教授] によって当プロジェクトの趣旨と現状を報告するとともに、建築関連の業務に携わってきた行政職員の方々によって、今後の復興のあり方について考えます。

出演 | 槻橋修 [神戸大], 高橋徹・小塚哲 [神奈川県庁], 横浜支援隊 [横浜市役所], 長田喜樹 [建築安全協会]

### II 『神奈川の建築関係者に何ができるのか』

12月7日 [金] 18時→20時 (17時半開場) | 入場無料 [定員50名]

会場 | 神奈川県建築安全協会本部 8F会議室

神奈川県建築関係者による事例報告、パネルディスカッションを通して、自分たちは3.11の震災に対し何ができるか、また何をすべきであるか考察します。

出演 | 三部佳英 [宮城県建築住宅センター], 神奈川大・横浜市大・神戸大の学生, 森岡茂夫 [JIA], 平山正義 [事務所協会], ス克蘭ブル調査隊 [建築士会]

### III 『県内ボランティア活動の状況』

12月14日 [金] 18時→20時 (17時半開場) | 入場無料 [定員50名]

会場 | 神奈川県建築安全協会本部 8F会議室

神奈川県を拠点とする、東北地方において復興活動を行っている団体同士による報告会、及びディスカッションを行います。

出演 | 塩沢祥子・小野尚子 [ボランティアステーション], 市原信行 [サポートチームG], 山内淳 [Ktop], 大川貴志 [南部市場]

◎ご予約 | お名前/参加日/イベント名/ご所属(会社・学校等)/お電話番号を記入の上、yokohama-2@losthomes.jp までE-mailにてお申込ください。



◎展覧会場 | 神奈川県建築安全協会安協サービスセンター [神奈川県横浜市中区元浜町4-36]

◎トークイベント会場 | 神奈川県建築安全協会本部 [神奈川県横浜市中区元浜町3-21-2ヘリオスビル内]

◎お問合せ | 045-212-3599 (神奈川県建築安全協会 総務部 担当 | 長田/安西)